

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	AE503/社会学 (Sociology)		
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	社会学の基礎を学ぶ		
担当者名 (Instructor)	中森 弘樹(NAKAMORI HIROKI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	EDU2800	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	教職課程登録者のみ履修可 2016年度以降入学者のみ履修可 「経済学」と交互に隔年開講		

#### 授業の目標(Course Objectives)

「社会」はどのようにして成り立っているのか？ この問題に対して、社会学の基本的な考え方を学び、その特徴を理解する。本講義の目標は、現代社会を社会的に捉える視点を習得することである。

How is "society" established? To solve this problem, students are expected to learn the basic concepts of sociology and understand its characteristics. The goal of this course is to acquire a sociological approach to modern society.

#### 授業の内容(Course Contents)

「社会」の成り立ちについて、社会学の古典から検討を始める。次に、各キーワードを手掛かりにして社会を読み解くことで、社会学の視点を学ぶ。そして、主に現代の家族や人間関係を題材として、現代社会とはいかなる社会であるのかを受講者とともに検討する。

This course begins to examine the formation of "society" from the sociological classics. After that, using each keyword as a clue, students are expected to interpret our society and learn the viewpoint of sociology. Then, we consider what a modern society is, mainly based on contemporary families and relationships.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. 社会学とは何か
2. グループワーク①——社会のイメージを描く
3. ウェーバーと理解社会学
4. デュルケムと機能主義
5. ジンメルと相互作用論
6. アイデンティティと役割
7. 権力
8. ジェンダー
9. 文化と階級の再生産
10. メディアとコミュニケーション
11. グループワーク②——現代の親密性を考える
12. 現代社会論①——家族の現在
13. 現代社会論②——再帰的近代化論とリスク社会
14. 現代社会論③——親密圏と公共圏

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

配布資料に基づく予復習が求められる。また、社会学の理論や概念を実生活に落とし込むために、ニュース等で時事問題に触れておくとよい。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(60%) / 出席とリアクションペーパー(40%)

#### テキスト(Textbooks)

授業で用いる資料は Blackboard を用いて配信する。また、授業内で適宜文献を紹介するので参照されたい。

#### 参考文献(Readings)

1. 長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志、2019、『社会学(新版)』、有斐閣 (ISBN:978-4641053892)
2. 奥井智之、2010、『社会学の歴史』、東京大学出版会 (ISBN:978-4130520232)

#### その他(HP等)(Others(e.g.HP))

